

平成28年度の研究成果をご活用ください！

プロジェクト研究の部

小・中学校	外国語活動 英語科	グローバル化が進む社会に対応した英語力の育成に向けて —小・中学校を通じたコミュニケーション能力の育成につながる研究型研修の試み—
小・中学校	授業改善	学ぶ力の向上につながる「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業づくり
小・中学校	学級経営	子どもが生き生きと活動する学級経営の充実 —若手教員が活用できる滋賀県版「学級経営サポートブック(中学校編)」の作成—
全校種	情報教育	授業力の向上を実感できるタブレット端末等のICTを活用した授業実践

先生方をサポートします！



小学校派遣研究の部

小学校	学ぶ力向上のための 研究員派遣による 学校支援のあり方Ⅱ	入門期における学びの基礎の視点を取り入れた主体的・対話的な学びを育む国語科の授業改善
		算数科の授業と連動した家庭学習から広がる主体的・対話的な学びの充実
		児童が主体的に問題解決する姿を目指した理科の授業づくり
		特別支援教育の視点を生かした小学校における個に応じた支援と授業実践の工夫

課題研究の部

小学校	国語科	児童の学びを深める国語科の授業づくり —「みちるべ」の作成と活用を通して—
	図画工作科	小学校におけるプログラミング的思考を育む授業づくり —図画工作科におけるICTを活用した授業実践を通して—
	特別支援教育	通常の学級における「書字のつまずき」の理解と効果的な支援に関する研究Ⅱ —小学校低学年における指導の工夫Ⅱ—
中学校	理科	探究の過程において必要とされる資質・能力の育成につながる中学校理科の授業改善 —「アクティブ・ラーニング」の視点からの指導と評価の工夫—
高等学校	数学科	確かな学力を育む高等学校数学科の授業づくり —「アクティブ・ラーニング」の視点からの指導方法と評価の工夫—
	保健体育科	高等学校保健体育科における学びに向かう主体的な姿勢を育むための授業改善に関する研究 —授業のユニバーサルデザインの考え方を基にした学習指導を通して—

平成28年度「第59回 研究発表大会」

2月17日(金)に当センターで研究発表大会を開催しました。県内外から教育関係者の方々に多数ご参加いただき、ありがとうございました。



なお、研究紀要(第59集)を各校に配付します。ぜひ、ご活用ください。

市町・学校園で研究成果を発表します！

市町・学校園での研修会等において、センター所員が研究の成果を発表します。センターHPの「研究成果」で各研究の紀要等を参照のうえ、活用したい研究がありましたら下記までご連絡ください。

TEL 077-588-2311
FAX 077-586-0011



学ぶ力向上係
まで！

教育学習情報が役立ちます！



教育学習情報（研究成果やデジタル教材・素材など）をご活用ください。カテゴリー別のボタンなどをクリックして、様々なニーズに合った情報を効率的に探すことができます。

特別支援教育相談について

発達障害等による学習や行動上の困難がある子どもへの対応について、相談員が具体的にアドバイスします。

- 対象…本人（幼児・児童・生徒）、保護者、教職員等
- 方法…来所相談、電話相談
- 相談日…月～金曜日（祝日、年末年始等を除く）
- 相談時間… 9：00～12：30
13：30～16：30
- 連絡先…TEL 077-588-2505（教育相談専用）



志 苑

滋賀県総合教育センター所報

〒520-2321 滋賀県野洲市北楼

TEL 077-588-2311 FAX 077-586-0011

http://www.shiga-ec.ed.jp/

平成29年 2月

Vol.133



自律的に学び続ける教職員を全力で支援します！

—子どものたくましく生きる力を育むために— 次長 前田 利幸

穏やかな天候で迎えた年明け。記録的な大雪をもたらした寒波。積もった雪が溶けたかと思えばまた雪が降り積もる。しかし、徐々に夜明けは早くなり、まだまだ厳しい寒さの中にも、少しずつ春の訪れを感じる時節となりました。

平成28年度の当センター諸事業も皆様方のご支援、ご協力のお陰をもちまして無事終えることができました。厚くお礼申し上げます。

1月末現在の集計では、指定研修と希望研修で延べ14,566人の方が受講され、センターから学校園等への学ぶ力向上支援には、177件訪問させていただきました。延べ6,755人の先生方に参加をいただきました。

今年度は、
○教員の資質能力の向上、喫緊の教育課題・現場のニーズを反映した「資質向上・教育研修」
○学校のニーズに応じた「学ぶ力向上支援」
○今後の教育活動の発展に寄与する「教育研究とその普及」

この3つの柱を立て、「子どもたちの確かな学びを育むために、明日につながる研修や研究を実施し、学び続ける教職員を支えていくこと」をめあてに取り組んでまいりました。

研修の実施にあたっては、学校現場の多くの先生方に講師をお願いいたしました。ご多用の中、快くお受けいただき、細部にわたり丁寧なご指導を賜りました。また、研究においては、専門委員や研究委員としてご参加いただいた先生方、さらには研究協力校の先生方にも多くのご指導やご協力を賜りました。心から感謝申し上げます。

さて、近年人工知能（AI）やロボット技術の研究の発展は著しく、囲碁や将棋、チェスでの人間とAIとの対戦も話題になりました。また、将来多くの仕事がAIやロボット等により代替されると言われています。ある研究では、AIやロボット等による代替可能性が高い職業、低い職業が示されていますが、その中で、幼稚園から大学までの教員・研究者、医者や芸術家などは代替可能性が低い職業に含まれています。あくまでも技術的代替可能性だということですが、教育という営みを考えたとき、一方的に知識を伝えるだけならAIやロボットでもできるかもしれません。しかし、人だからこそできること、人にしかできないことがある、これが教育です。「教育は人なり」この言葉を聞いたことがないという教職員はいないと思いますが、学校教育の成否は教員にかかっています。

今、学校教育に求められ期待されていることは本当に多岐に渡っています。今の子どもたちが大人になったときどのような社会になっていて、そこで生き抜くためにどのような力をつけなければならないのか、そのために学校教育で今何をしなければならないのか、そして、これからの学校教育を担う教員の資質能力をどう向上させていくのか。

「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」が平成28年11月28日に公布され、平成29年4月1日から施行となります。教員の体系的かつ継続的な研修を充実させていくための環境整備を図ることが急務となっていることや、「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善」「教科等を越えたカリキュラム・マネジメント」といった教育課程・授業方法の改革への対応、「英語」「道徳」「ICT」「特別支援教育」等新たな課題への対応、「チーム学校」の実現ということも改正の背景にあります。

このような流れの中で、次年度当センターでも「授業改善・資質向上」「学校改善・働き方改革」を2つの柱として、求められる資質能力の向上をめざし学び続ける教職員を、そして、組織的、協働的な学校づくりを支援してまいります。

ところで、滋賀県公立学校教員採用選考試験実施要項には、滋賀県がめざす教員像が最初に書かれています。「教育者としての使命感と責任感、教育的愛情を持っている人」「柔軟性と創造性を備え、専門的指導力を持っている人」「明朗で、豊かな人間性と社会性を持っている人」です。

教科指導力や職務遂行能力等は研修によって高めることができますが、教員として求められる根幹部分には、「使命感と責任感、教育的愛情」「柔軟性と創造性」「明朗で、豊かな人間性と社会性」があることを忘れてはならないと思います。これがAIやロボットと違うところです。

次年度も、より現場のニーズに応える総合教育センターを念頭に置き、子どものたくましく生きる力を育むために、自律的に学び続ける教職員の皆さんを支援して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

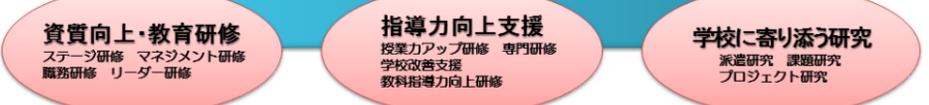
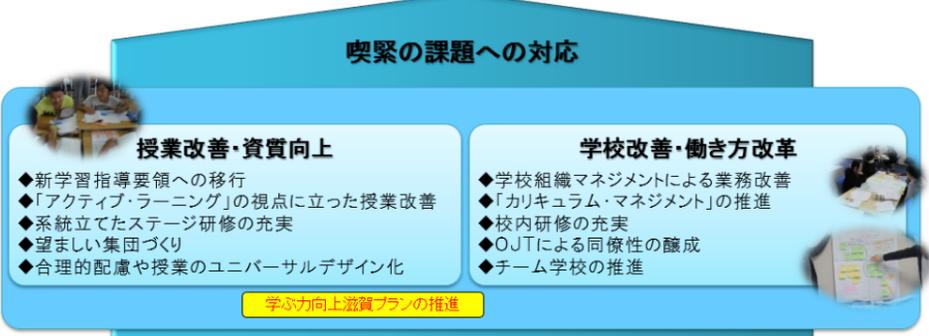


総合教育センターは自律的に学び続ける教職員を支援します！ —未来を拓く心豊かでたくましい人づくり—



「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「滋賀の自然や地域と共生する力」を育成

求められる教職員の資質
・時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力
・情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力
自律的に学び続ける教職員



子どもたちの可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を育むために、子どもたちの学び力を高め、確かな学びを支える授業づくりを推進します。また、授業のユニバーサルデザイン化や「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業改善等の課題に対応する力、社会や学校を取り巻く環境の変化に対応する力など、これからの学校教育を担う教職員の資質能力の向上を目指します！

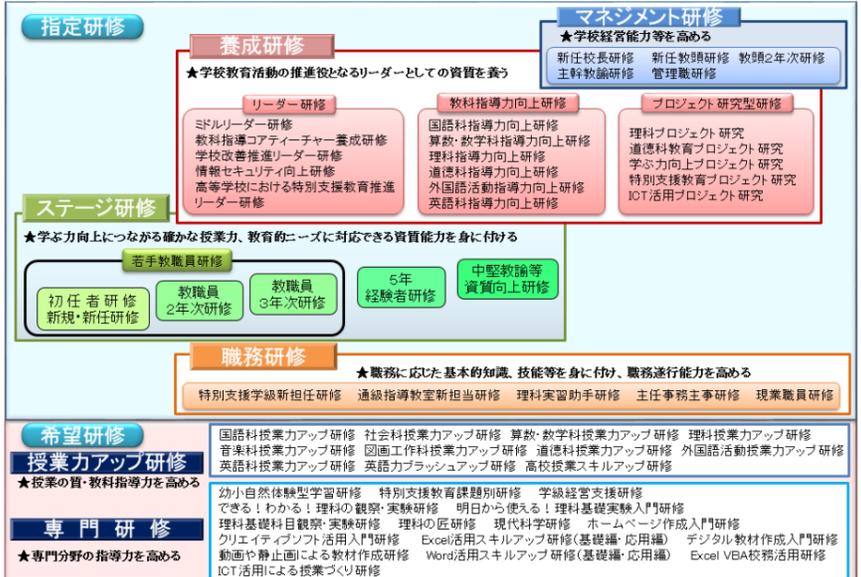
【2つの柱】
◎授業改善・資質向上
◎学校改善・働き方改革

【キーワード】
☆資質向上・教育研修
☆指導力向上支援
☆学校に寄り添う研究

詳しくは、研修・事業案内をご覧ください。

平成29年度 滋賀県総合教育センター 研修体系図

自律的に学び続ける教職員を支援 —子どもの学び力の向上を目指して—



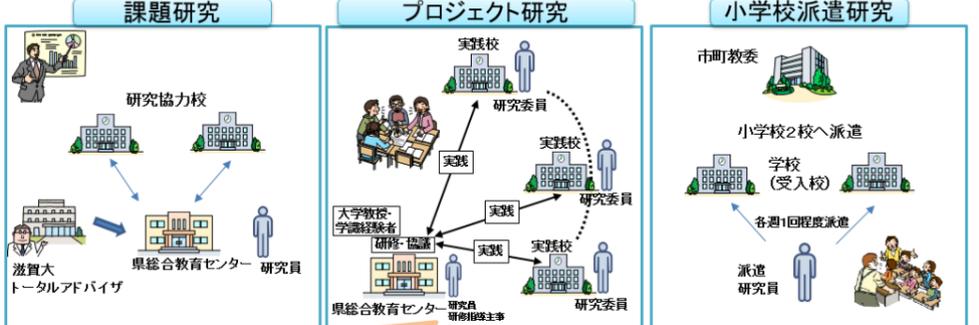
当センターは、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、教職員の実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質能力の向上を目指します。

- 指定研修 講義だけでなく、協議・演習・実習を中心に、系統立てて研修を組み立てています！
☆ステージ研修 ☆養成研修 ☆マネジメント研修 ☆職務研修
- 希望研修 すぐに授業に生かせる指導力と専門性の向上を目指します！
☆授業力アップ研修 ☆専門研修

平成29年度 子どもの確かな学び力を育むための研究事業

国の動向、県の課題を見すえた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援する

学校に寄り添う研究 実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援する
課題研究 : 喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施する
プロジェクト研究 : 研修と実践の往還による先進的な実践力の向上をめざす指導改善研究を実施する
小学校派遣研究 : 研究員が毎週1日派遣校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施する



【プロジェクト研究】

- ★少人数による研究型研修で滋賀県の教育課題に対応！
- ★大学教員、学識経験者との共同研究！
- ★定期的に協議会を実施し、研修と実践の往還を図る！

理科	子どもたちの学び合う力を高める学習モデルの研究・開発を通して、理科の授業力の向上を目指す
道徳科教育	教科化に向けた道徳の授業の方向性とあり方を学び、実践を通して指導力の向上を目指す
学ぶ力向上	「アクティブ・ラーニング」についての理解を深め、学んだことを活かした授業実践を通して授業力の向上を目指す
特別支援教育	地域における特別支援教育推進の核となる人材の育成ならびに地域の支援システムの構築を目指す
ICT活用	タブレット端末等のICTを活用した授業や情報モラル教育の推進等、教育の情報化推進を目指す

平成28年度センター事業にかかるアンケート結果より《抜粋》(8月に実施)

※その他の結果や詳細につきましては、当センターHPに掲載します。

県内の幼、小、中、高、特別支援学校の教職員や市町教育委員会、教育研究所の教職員を対象に、総合教育センター事業(研修、研究、特別支援教育相談、学び力向上支援)についてのアンケートを実施しました。その中からいくつかを紹介します。いただきましたご意見を、当センターの運営に生かしていきたいと思ひます。

*回答数は、1,239人でした。ご協力ありがとうございました。

